



土佐中・高等学校
新校舎建築プロジェクト
[概要書]

平成18年7月14日

学校法人 土佐高等学校

〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10 TEL:088-833-4394 FAX:088-833-7373

CONTENTS

- 新校舎建築決定の経緯と目的 ————— 1
- プロジェクトの基本コンセプト ————— 2
- プロジェクトの基本方針 ————— 2
- プロジェクトの概要 ————— 3
- プロジェクトの推進 ————— 4
- 今後のスケジュール ————— 5
- 資金計画 ————— 5
- 長浜グラウンド整備工事等 ————— 6
- 本校独自の奨学金制度の創設 ————— 6

新校舎建築決定の 経緯と目的

創立100周年(平成32年・2020年)に向けて

伝統をふまえつつ、新しい時代の要請により応えることのできる学校づくりをめざして、ソフト・ハード両面にわたって改革の方向性を探る

新校舎の建築が検討課題となる

- 教育環境の充実を図るため
- 近い将来予想される南海地震に備えるため
- 現校舎は昭和46(1971)年の旧耐震基準よりもさらに古い基準で建てられたもの

学校内外から多くのご意見をいただきながら、新校舎建築の検討を進める

昨年度から本年6月にかけて集中的に論議を重ね、新校舎の建築に踏み切ることを理事会で決定

高知から世界に羽ばたく有為の人材を育成する、という
本校の教育目的を達成するために不可欠な新校舎建築プロジェクト

プロジェクトの 基本コンセプト

本校の伝統をふまえつつ、理想的な教育環境を創出するための3つの基本コンセプトを設定

①安全で健康的な環境

②より高いレベルでの文武両道の達成可能な環境

③より豊かなコミュニケーション可能な空間

プロジェクトの 基本方針

コンセプトを実現するとともに、次のような基本方針のもとで、プロジェクトを推進

●より高品質の校舎をより低コストで建設する

保護者のご負担をできる限り少なくするよう最大限の努力をしていくことが絶対的かつ最大の条件

●透明性の高い公明正大な建設事業を行う

本校は社会に貢献する人材を育成することを建学の精神として公教育を担う役割を負う
財政的にも保護者の皆様のご負担に加え、国・県・市から多額の補助金をいただくなど高い公共性

●世界最高水準の防災安全性を目指す

単に、地震に対する防災安全性を確保するだけではなく、火災対策など様々な防災安全性を備え、
地震や津波に対する地域の避難施設としての機能も果たせるものに

●地域が喜び、地域が豊かになる建設事業を目指す

高知県・高知市に基礎を置く本校としては、建設事業の過程の面でも結果の面でも、地域に対して
できる限りの配慮と貢献を

●土佐校の全関係者がますます元気になる事業にする

すべての関係者のご理解のもと、積極的なご参加とご協力をいただける事業となり、その成果として
の新校舎も教育環境の向上だけでなく、保護者や同窓生の皆様をはじめ全関係者に広く活用し
ていただき、本校との絆を一層強固にしていだけるような機能をもたせる

プロジェクトの 概要

- 新校舎は現在地である〈高知市塩屋崎町1丁目1-10〉の敷地で全面的に立て替え
- 新築対象は校舎(階数等は未定)のほか、大体育館、小体育館、プールを含み、延べ床面積17,500㎡程度(プールは除く)を予定
別に1,500台分程度の駐輪スペースを確保
- 校舎部分は先進の免震構造を採用
- 工期は2年程度(予定) なお、建て替え手順上、仮校舎を必要とする場合、その設置場所は現在の敷地以外には予定しない
- 体育館は、建て替えに要する全期間を通じて常に使用できるようにする
- 現在工事中の長浜グラウンド(仮称)整備工事を含め、プロジェクト全体に関わる総事業費予算は43億3千万円、内、新校舎建築に関わる部分は40億円以内を見込む

プロジェクトの 推進

基本施策

- 設計と施工を分離
- 共に県内企業優先

さらに

- プロジェクトの全過程における透明性と品質の確保
- 経済コストの実現を図るために



現在国内で最も先進的な方式と言われる『CM方式』を採用

■ CM方式(コンストラクション・マネジメント方式)

建設事業において、発注者の立場に立つコンストラクション・マネージャーが設計・発注・施工の各段階において、設計の検討や工程管理、品質管理、コスト管理などの各種マネジメント業務を行うもので、事業推進の要となるCM会社は事前審査に加え、プロポーザル方式の入札という慎重な手続きを経て、選定

応募企業7社

「株式会社三菱地所設計」と正式契約を締結

- 今後は、本校との緊密な協同体制のもと、三菱地所設計様独自の「ブリーフィング」手法による総合的なマネジメント業務を通じて、本プロジェクトが成功裏に遂行されることを確信
- このCM方式によるプロジェクトは単に本校のみにとどまらず、これからの全国の学校建築事業推進のモデルケースとなりうるものになりたいという意気込みを持って臨む

今後の スケジュール

- 設計業者の選定 ————— 平成18年8月末日まで
- 設計業務終了(長浜グラウンド完成) —— 平成19年3月末日まで
- 工事発注・着工 ————— 平成19年7月末日まで
- 工事完成 ————— 平成21年8月末日まで

資金計画

- 総事業費予算 ————— 43億3千万円
-
- 自己資金 ————— 5億円
 - 募金 ————— 3億5千万円
 - 長期借入金 ————— 34億8千万円

長浜グラウンド 整備工事等

新校舎建築プロジェクトと関連しながら進めている事業＝長浜グラウンド整備工事

- クラブ活動の充実と安全性の確保
- 市街化の進展

新たなグラウンドを確保する必要性

平成16年3月の理事会決定に基づく、新グラウンドを造成計画

入札の結果、ミタニ建設工業株式会社と東山建設株式会社の共同企業体に工事業者決定

- 場所：高知桂浜道路(有料)の中間、料金所のすぐ西の山腹
- 起工式：平成18年4月6日
- 完成：平成19年3月末予定
- 規模：野球練習場、サッカー練習場、付属施設等を合わせて約3万8千㎡
- 工事進捗率：25%

本校独自の 奨学金制度の創設

創立100周年に向けて、様々な改革への取り組み
＜新校舎建築などハード面の充実だけでなく、ソフト面での充実も進める＞

- 現在「中学生を対象とする本校独自の新しい奨学金制度の創設」を準備中